

□議員名：長谷川 知司

1 第二次総合計画関連について

(1) 移住・定住の促進

論点	本市の移住・定住施策の推進は進んでいるのか。 子育て支援や場所に特定されない仕事等の拡充施策はどうか。 厚狭駅に「ひかり」や「さくら」の停車運動も必要である。
回答	転入奨励金制度を実践し、子育て支援の充実が重要と考えている。 今年から、スマイルキッズをオープンし、子育て支援も当然であるが、イメージ戦略が大切と考える。様々な PR 活動やマスコミ等の活用で、選ばれる山陽小野田市になりたい。

(2) 山口東京理科大学の環境整備

論点	薬工大学としてスタートしたが、大学周辺の環境は狭い宇部市道をはじめ地元住民にとっては30年前と何も変わっていない。今後の市の施策はどうなっているのか。
回答	安心・安全な環境整備に努めていきたい。 宇部市道については、再度本市を通じて道路拡幅を要望していく。 青年会議所の活動で、きれいになった雀田駅舎。 今後、民間にどう取り組んでもらえるか、様々に取り組んでいる。

(3) 地域福祉の推進

論点	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくのが望ましいが、そのことの施策があるのか。
回答	健康寿命をいかに延ばす。そのためには、地域のことは地域でとする地域共生社会が必要であるが、地域コミュニティが低下している。そのため、独居老人や高齢者世帯等に対し、地域と医療と介護が連携する地域包括ケアシステムの整備に努めていく。 また、地域からの生活支援サービスの提供体制を整備するため、「支え合いの地域づくり推進協議会」を小学校区に設置するよう取り組んでいる。 地域福祉の担い手として、社会福祉協議会を中心に、自治会長、民生委員、福祉委員との連携も図っている。